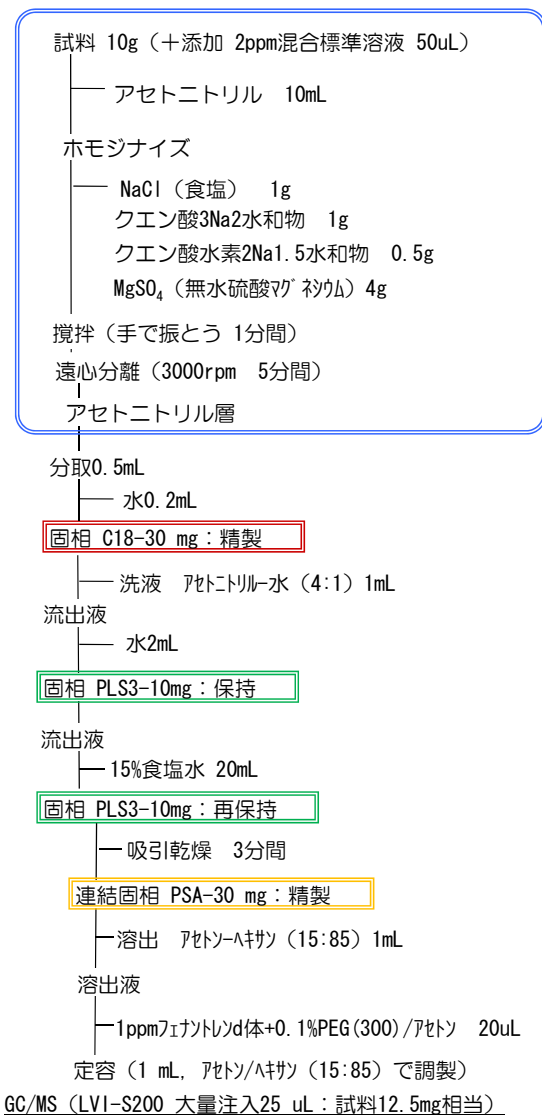


# 日本梨 (二十世紀) MA-GCB1

## 前処理フロー



GC/MS (LVI-S200 大量注入25 uL : 試料12.5mg相当)

## 目的/実験方法

### 手作業による添加回収試験(GC-B1法)

- 添加濃度 (試料中) : 10ppb
- 最終バイアル中濃度 : 5ppb
- 農薬 : 関東MIX-22, 31, 34, 48, 51
- 検量線 :
  - ・PEG共注入標準溶液、絶対、直線検量線
  - ・1点 : 5ppb
  - ・20ppbフェナントレン体+20ppmPEG + 農薬混合標準溶液 (アセトン-ヘキサン)
- \* フェナントレン体は装置の感度評価の目安として使用。
- 測定 : 1 Injection によるSCAN測定
- 測定条件 : 参考資料に従う。

①遠心分離後



②固相 (C18-30, PLS+PSA)

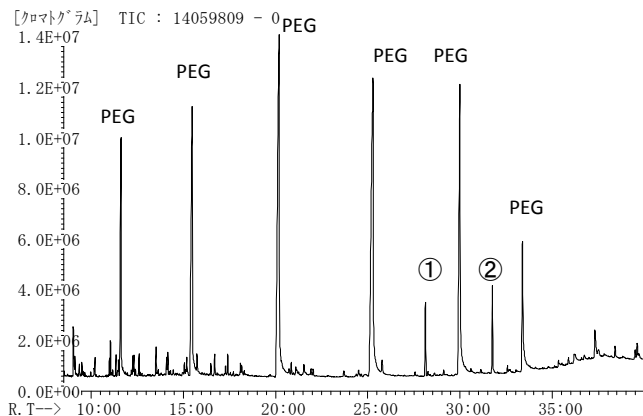


## 考察

大きな夾雑ピークは無く、概ね良好な回収率を得ることができた。

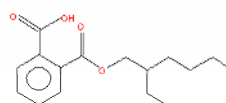
未知検体からクレソキシムメチル、ペルメトリンが検出された。

## Scan Chromatogram

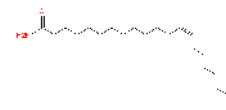


### 【夾雑成分】

① Monoethylhexyl phthalate



②Erucylamide



STQ-KIT  
For STQ Method

### Sample



### Information

水分 : 88.0%  
脂質 : 0.1%  
脂肪酸 : 0.00%

なしは花おち、しん及び果梗の基部を除去したものを、フードプロセッサーで細切。

AISTI SCIENCE

### Product

LVI-S200  
Smart-SPE C18-30  
Smart-SPE PLS3-10  
Smart-SPE PSA-30

株式会社アイスティサイエンス

〒640-8341  
和歌山市黒田120-6アソト黒田2F  
TEL. 073-475-0033  
FAX. 073-497-5011  
[www.aisti.co.jp](http://www.aisti.co.jp)

